桐生&足利は、いっしょに巡れて旅も充実！

群馬県桐生市と栃木県足利市は、県境を挟んで隣同士。
昔から織物を通じて発展したふたつの街には、
数々の歴史的な見どころやイベントがたくさんあります。
桐生と足利をつなげて街を巡るだけでなく、
さらに足を延ばせば、群馬と栃木の旅がグンと充実します。

※掲載した情報は2018年2月時点のものです。

桐生 KIRYU

桐生市はこんな街

1,300年続く絹織物の産地で、江戸時代には「西の西陣、東の桐生」と謳われて織物の一大産地となった桐生。そうした、織物産業の歴史を伝える建造物が数多く残された街並みは近代文化遺産そのもの。多彩な産業観光ができ、イベントも数多く、訪れる人たちを魅了している。そして、ソースカツ丼、ひもかわなどの「桐生発祥グルメ」も大きな魅力だ。

足利 ASHIKAGA

足利市はこんな街

足利氏発祥の地である足利市は、日本最古の学校といわれる史跡足利学校をはじめ、足利氏宅跡で本堂が国宝の鑁阿寺（ばんなじ）など、歴史的建造物が数多く残る街。モダンな柄と斬新な色使いで一世を風靡した絹織物「足利銘仙」は、織物産業で栄えた足利の象徴だ。また、「息をのむほど美しい」と人々を魅了する、あしかがフラワーパークの大藤も見逃せない。

足利に来たらほかでは見られない藤棚をぜひ！

桐生へのアクセス

電車をご利用の方

浅草駅	東武鉄道	北千住駅	東武鉄道	新桐生駅	徒歩またはタクシー	桐生市 約1時間50分
中央前橋駅	上毛電鉄			西桐生駅	徒歩またはタクシー	桐生市 約1時間
東京駅	JR新幹線	高崎駅または小山駅	JR両毛線	桐生駅	徒歩またはタクシー	桐生市 約1時間50分

お車をご利用の方

練馬I.C.	関越自動車道	鶴ヶ島JCT（圏央自動車道）	関越自動車道	高崎JCT	北関東自動車道	太田藪塚I.C.	一般道路	桐生市 約1時間30分
浦和I.C.	東北自動車道	久喜白岡JCT		岩舟JCT	北関東自動車道	太田桐生I.C.	一般道路	桐生市 約1時間10分

足利へのアクセス

電車をご利用の方

浅草駅	東武伊勢崎線			足利市駅	徒歩またはタクシー	足利市 約1時間15分
新宿駅	JR湘南新宿ライン	久喜駅	東武伊勢崎線	足利市駅	徒歩またはタクシー	足利市 約1時間30分
東京駅	JR新幹線	小山駅	JR両毛線	足利駅	徒歩またはタクシー	足利市 約1時間40分

お車をご利用の方

大泉I.C.	東京外環自動車道	川口JCT	東北自動車道	岩舟JCT	北関東自動車道	足利I.C.	一般道路	足利市 約1時間10分
浦和I.C.	東北自動車道					佐野藤岡I.C.	一般道路	足利市 約1時間